

統一されたデータとグローバルガバナンス

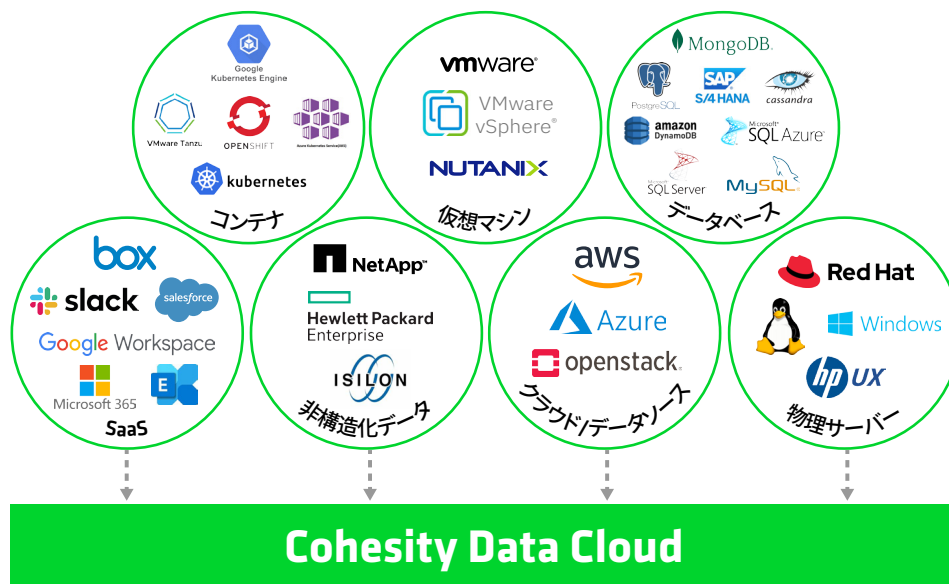
課題: データの断片化とリスクの拡大

組織が近代化に伴い、仮想マシン、クラウドネイティブアプリ、SaaSプラットフォーム、非構造化ストレージのデータは増え続けています。しかし、従来はこのような増加に対して、ガバナンスが伴っていませんでした。それどころか、サイロ、断片化、盲点を生み出していたのです。つまり、攻撃者に重要資産を侵害する必要はありません。管理されていないもの、設定ミスがあるもの、放置されているものを見つけるだけで良いのです。

データやその保存先が増え、その可視性と制御が低下したことで、攻撃対象領域はこれまで以上に広がっています。データ保護戦略を一元化できない組織には、未保護のワークロードや一貫性のないポリシー、そして最も重要な場面での遅くて複雑な復旧といった盲点を抱えるリスクがあります。さらに、断片化されたツールとサイロ化されたポリシーでこのような拡大を管理するITチームが疲弊すると、ランサムウェアによる侵害やコンプライアンス違反が起こりやすい環境が生まれます。

主なメリット

- セキュリティの強化
- リスクの低減
- コンプライアンスとガバナンスの向上
- コスト削減とROI向上
- IT効率の向上



統合UI + API | 共通SLA | コンプライアンス | レポート |
ポリシー | AIを活用したオペレーション

解決策: 可視性と制御の一元化

サイバーレジリエンス実現に向けた行動を開始する前に、可視性と制御の両方を確立する必要があります。まずは、すべてのワークロードを対象に、その場所を問わず保護とガバナンスを一元化します。

Cohesityは、今日の分散型企業に対応した最新のプラットフォームを活用し、すべてのデータを一元管理することで、この課題に対処しています。オンプレミスのVM、AWSのデータベース、Microsoft 365のファイルなど、いずれをバックアップする場合でも、ポリシーに基づくシンプルな管理でグローバルに対応することができます。

広範囲かつネイティブなワークロードのサポート

Cohesityは、1,000以上のデータソースをネイティブに保護します。これには以下が含まれます:

- 仮想マシン (VM)
- データベース (Oracle、SQL Server、SAP HANAなど)
- NAS、非構造化データ環境
- SaaSアプリケーション (Microsoft 365、Salesforce、Google Workspace)
- クラウドネイティブワークロード (AWS、Azure、GCP、Kubernetes)

オンプレミス、パブリッククラウド、SaaSなど、データがどこにあっても、すべてのワークロードを可視化し、管理し、復旧可能な状態にします。

ハイブリッド環境全体で一貫した保護

データが一箇所にとどまっていない以上、データ保護も一箇所に限定されるべきではありません。Cohesityは、オンプレミス、クラウド、SaaSで動作し、一貫した体験と一元的な管理を実現する共通プラットフォームを提供します。ソフトウェア定義、事前構築済みアプライアンス、as a Serviceなど、お好きな方法で導入可能です。ひとつのUIとAPI群ですべてを管理できるため、ツールの乱立や運用のサイロ化が解消されます。

シンプルな運用と一元管理

大規模なデータ管理に、多くの専門家を割く必要はありません。Cohesityの直感的なインターフェースなら、少人数のチームでも、広大で複雑な環境を管理することができます。ポリシーの自動実行とすべてのワークロードを一元管理できる単一画面 (Single Pane of Glass) により、運用効率と可視性が向上します。単一UIのため、ツールとエラーが減り、オンボーディングが加速します。

データフットプリントの削減とTCOの低減

ペタバイト規模では、ストレージ効率が重要です。Cohesity独自のSpanFSファイルシステムは、業界をリードするデータ圧縮と重複排除を備え、ストレージのフットプリントとコストを大幅に削減します。効率的なデータ削減により、パフォーマンスやリカバリ性を損なうことなく、総所有コスト (TCO) の削減とROIの向上が実現します。

ビルトインのセキュリティとコンプライアンス

セキュリティはCohesityプラットフォームに組み込まれているものであり、後付けの機能ではありません。自動化された一元管理ポリシーにより、すべての環境で一貫したアクセス制御、データ分類、コンプライアンスの遵守が実現します。イミュータブルバックアップ、AIを活用した異常検知、ランサムウェアからの迅速な復旧は、ビルトインの機能です。

なぜCohesityなのか?

Cohesityは、世界をリードする組織から信頼され、その最も重要なデータのセキュリティ確保と管理を任されています。Cohesityのプラットフォームは、以下の目的で構築されています:

- ハイブリッドとマルチクラウド環境全体でのワークロードの完全な保護
- ランサムウェアの検知、隔離、復旧の迅速化
- 大規模に対応したビルトインのコンプライアンスとガバナンス
- 統合による総所有コスト (TCO) の削減
- 進化するITニーズに対応する、将来を見据えた拡張性

セキュリティのギャップを解消し、あらゆる場所にあるすべてのデータを一元化、保護、管理する準備はできていますか? いつでもお問い合わせください。

[Cohesity.com](https://cohesity.com)で詳細をご確認ください

© 2025 Cohesity, Inc. All rights reserved.
Cohesity、Cohesityのロゴ、SnapTree、SpanFS、DataPlatform、DataProtect、Helios、およびその他のCohesityのマークは、米国および/または海外におけるCohesity, Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、関連する各企業の商標である可能性があります。本資料は、(a) Cohesityと弊社の事業および製品に関する情報を提供することを目的としています。(b) 本資料が作成された時点では、真実かつ正確であると考えられていますが、予告なく変更されることがあります。(c) 本資料は、「現状有姿」で提供されます。Cohesityは、いかなる種類の明示的または黙示的な条件、表明、保証も放棄します。

COHESITY

cohesity.com

1-855-926-4374

2625 Augustine Drive, Santa Clara, CA 95054

3000170-001-JP 6-2025